

### 地域公共交通網形成計画の趣旨

#### 【計画の目的】

本格的な人口減少社会においても、暮らしやすい快適な都市環境を目指す。  
⇒人と環境にやさしい、持続可能なコンパクトなまちづくりと公共交通を中心とした交通ネットワークの構築

#### 【計画の位置づけ】

「第六次前橋市総合計画」（平成30年度を初年度とする第七次総合計画策定中、「前橋市都市計画マスタープラン」等の上位関連計画を踏まえ、検討中の「立地適正化計画」と相互に連携しながら進めていくものとする。

#### 【計画の区域】

基本的には前橋市の全域を対象とする。

#### 【計画の期間】

長期的な将来像を見据えつつ、平成34年度を目標年次とする5年程度とする。

#### バス交通網再編の考え方

本市のバス路線は、前橋駅を中心に放射状のバスネットワークが形成されているが、一部を除き運行頻度が低く、路線が複雑で分かりづらい。このため、運行本数及び利用者の多い路線を幹線として整備するとともに路線を見直し、誰もが利用しやすいバス交通網の再編を行う。

#### 再編計画の概要

①幹線の明確化と路線の見直し  
路線全体で見ただけでは必要のむらが見られるなどの特性を有する路線を対象として、各区間における適正な運行サービス水準を確保するため、路線の再編を行う。

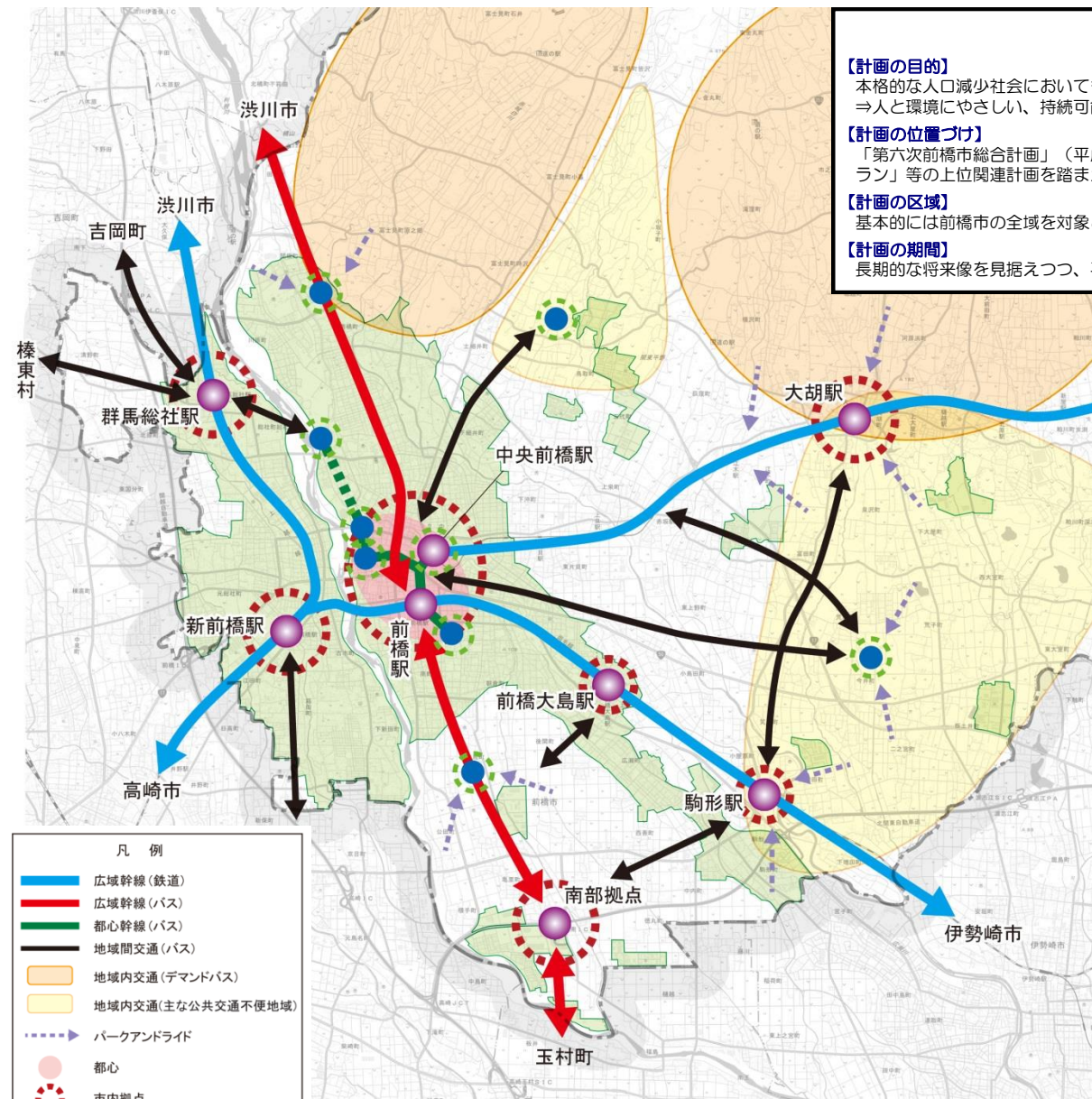
- (例)・幹線の充実及び路線全体の見直し
- ・都心幹線の設定(シャトル化、回遊性向上)
  - ・結節・乗換えポイントの充実
  - ・鉄道との乗換えの円滑化
  - ・ゾーン運賃制の導入(乗継ぎ抵抗の低減)

②地域内交通の導入  
現状のサービスにおいて公共交通ネットワークがカバーできていない公共交通不便地域を対象に、鉄道駅や乗換えポイント等の間を結ぶ地域内交通の導入を行う。

- (例)・地域デマンド交通の導入
- ・結節・乗換えポイントの設定
  - ・既存バス路線の見直し

③利用促進策(環境整備)の推進

- (例)・交通系ICカードの導入
- ・分かりやすい行き先表示の統一
  - ・駅や結節ポイントにおける案内表示等の充実
  - ・車内における乗換案内等の充実
  - ・主要バス停の上屋・ベンチ等の待合環境の整備
  - ・P&R、P&BR(主要駅・主要バス停付近への自動車駐車場)の整備
  - ・C&BR(主要バス停付近への自転車駐車場の整備)等



#### 凡例

- 広域幹線(鉄道)
- 広域幹線(バス)
- 都心幹線(バス)
- 地域間交通(バス)
- 地域内交通(デマンドバス)
- 地域内交通(主な公共交通不便地域)
- パークアンドライド
- 都心
- 市内拠点
- 結節・乗換えポイント
- 市街化区域